

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>市民の期待に応える学校づくりの推進</p> <p>1 「個を活かし、公に生きる」人間の育成</p> <p>2 「グローバルに活躍する」人間の育成</p> <p>3 感じる力、考える力、行動する力、向上する力、関わる力（5K力）の育成</p> <p>4 バランス感覚のある、人間としての総合力をはぐくむ教育の推進</p>	<p>（成果）</p> <p>1 少人数授業を実施し、きめ細かな指導や専門性の高い授業展開を通して、学力向上を図ることで、学力推移調査の結果に結び付けることができた。また、主体的な学びの育成に向け、タブレットPC等の活用を進めるとともに、オンラインによる授業や学活を実施したり、行事の動画配信を行うなど、ICT活用を積極的に行えた。</p> <p>2 総合的な学習の時間「みらい楽」では、地域理解を深める観点から社会の抱える課題の解決に向けての取組など、実際に、企業や行政に要望や提案をするなど主体的に地域や社会と関わり、発信しながら学びを深めることができた。さらに、探究活動の成果発表として報告会を実施し、着眼点や手法等を伝えることができた。</p> <p>3 部活動加入率は高く、高校と連携しながら活動した。その成果として、公式試合や発表会では全国大会に出場したり多くの部活動で市内大会3位以内といった結果で表彰を受けたりした。また、中学の部活動引退後も切れ目なく高校の部活動で活動するなど、6年間を見通した部活動運営ができた。生徒会活動においても、中学校独自の行事等を生徒が積極的に運営した。</p> <p>4 長期休業中の三者面談や日常的な家庭との連携を密にすることで、信頼関係を築くことができた。</p> <p>5 学校説明会や「附属中だより」、中学生の母校訪問など、生徒の様子を小学校に発信することができた。</p> <p>（課題）</p> <p>1 附属中1期生の高校卒業により、6年間を見通した中高一貫教育を総括し、より充実させる。</p> <p>2 中高一体となった校内組織を確立するため、事前に協議・調整を行い、共通認識をもって教育活動を推進していけるようにする。</p> <p>3 福高生から中学生へ話す機会を積極的に設けるなど、中高一貫教育校ならではのコラボを充実させる。</p> <p>4 中高、各分掌、各教科間でのOJTをさらに推進し、学校全体の教育力向上に向け、教職員の資質・能力の向上を通じて業務改善と効率化を図れるようにする。</p> <p>5 防災訓練等を通じて、生徒及び教職員が防災意識を高めていけるよう安心・安全な学校づくりに努めていく。</p>	<p>1 中高一貫教育の推進</p> <p>(1) 中高間及び分掌間の連携を図るとともに、中高一体となった校内組織を確立する。</p> <p>(2) <u>附属中出身の高校卒業をふまえ</u>、中高6年間で育む資質・能力を意識した中学3年間の指導の充実を図る。</p> <p>(3) <u>6年間を見通しながら</u>生徒の発達段階に応じたきめ細かで、組織的な生徒指導体制を確立する。</p> <p>2 一人一人の学力の向上</p> <p>(1) 少人数授業等のきめ細かな指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着を徹底するとともに、わかる喜びを実感させる。</p> <p>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>(3) ICTを効果的に活用した授業改善を推進する。</p> <p>(4) 総合的な学習の時間「みらい楽」や体験活動を通して<u>生徒自らが課題を設定し、探究の楽しさを実感させ、社会や地域の課題解決に主体的に取り組む姿勢を養う。</u></p> <p>3 「福高コラボ」の推進</p> <p><u>各種行事や本校卒業生と中学生との交流や協働活動を通して、異年齢との関わりから学び、刺激を受け、成長できるような、中高一貫教育校ならではのコラボを実施する。</u></p> <p>4 健やかな身体と豊かな人間性の育成</p> <p>学級活動や学校行事、部活動、<u>伝統文化体験授業等</u>を通して、心身を鍛えるとともに、仲間づくりの大切さに気づかせ、人権意識や規範意識、思いやりの心を育む。</p> <p>5 学校組織の改善と見直し</p> <p>教職員の資質・能力の向上と、学校全体の教育力向上のため、中高、各分掌、各教科の在り方を含めた業務改善と効率化を図る。</p> <p>6 適正な学校運営と安心・安全な学校づくり</p> <p>全教職員が危機管理意識や防災意識を持ち、<u>学校全体を見通した危険個所の早期発見や日々の点検に努め、適正な学校運営にあたる。</u>学校防災や感染症対応など、生徒・保護者・教職員が共通認識をもち、危機管理体制を確立し、安心・安全な学校を作る。</p> <p>7 家庭・地域・関係機関との連携の強化</p> <p>(1) 積極的に家庭連絡・家庭訪問を行うなど、家庭との連携を密にして信頼関係を築く。</p> <p>(2) 地域学習や地域連携活動等を通して、積極的に地域や<u>外部機関</u>と関わろうとする姿勢と行動力を育む。</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題																
組織・運営	<p>【 中高一貫教育の推進 】 附属中出身の高校卒業をふまえ、中高6年間で育む資質・能力を意識した指導の充実を図る。また、生徒の発達段階に応じた、組織的な生徒指導体制を確立する。</p>	<p>6年間を見通しながら、少人数授業やICTの効果的な活用した授業等を通して、基礎的学力の定着の徹底及び探究的な視点からの学びを充実させる。</p> <p>【 学校経営計画（実施段階）を指標とする。 】 [年度末評価 A, B評価の教科数（全10教科）]</p> <table border="1" data-bbox="828 411 1451 480"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9教科以上</td> <td>7・8教科</td> <td>5・6教科</td> <td>4教科以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>【 学校評価アンケート（保護者）を指標とする。 】 [本校は学力向上に十分努めていると思う割合]</p> <table border="1" data-bbox="851 576 1473 644"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60%以上</td> <td>59～40%</td> <td>39～25%</td> <td>24%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	9教科以上	7・8教科	5・6教科	4教科以下	A	B	C	D	60%以上	59～40%	39～25%	24%以下		
	A	B	C	D																
	9教科以上	7・8教科	5・6教科	4教科以下																
A	B	C	D																	
60%以上	59～40%	39～25%	24%以下																	
<p>【 教職員の資質・能力の向上の視点からの組織改善 】 中高、各分掌、各教科間での OJT をさらに推進し、教職員の資質・能力の向上を通じて業務改善と効率化を図れるようにする。</p>	<p>学校全体の教育力向上のため、中高、各分掌、各教科の在り方を含めた校内体制の確立及び業務の効率化を図っていく。</p> <p>【 内部評価を指標とする。 】 [自己の資質・能力が向上したと思う割合]</p> <table border="1" data-bbox="828 836 1451 904"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60%以上</td> <td>59～40%</td> <td>39～25%</td> <td>24%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>【 学校評価アンケート（生徒）を指標とする。 】 [本校は魅力的な学校だと思う割合]</p> <table border="1" data-bbox="828 1000 1451 1069"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60%以上</td> <td>59～40%</td> <td>39～25%</td> <td>24%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	60%以上	59～40%	39～25%	24%以下	A	B	C	D	60%以上	59～40%	39～25%	24%以下			
A	B	C	D																	
60%以上	59～40%	39～25%	24%以下																	
A	B	C	D																	
60%以上	59～40%	39～25%	24%以下																	
<p>【 広報活動の充実 】 本校への理解や魅力発信及び教育活動の充実を図ることで、広報や生徒募集につなげていく。</p>	<p>学校説明会や「附属中だより」等を通じて、生徒の様子を外部に発信することで生徒募集につなげていく。</p> <p>[募集定員に対する志願者数の割合]</p> <table border="1" data-bbox="840 1193 1462 1262"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5倍以上</td> <td>2.0倍以上</td> <td>1.4倍以上</td> <td>1.4倍未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	2.5倍以上	2.0倍以上	1.4倍以上	1.4倍未満											
A	B	C	D																	
2.5倍以上	2.0倍以上	1.4倍以上	1.4倍未満																	
教務部	<p>学力向上に向け、授業改善と主体的な学習態度の育成に努める。</p>	<p>学力向上のため学年部と連携し、ガイダンスを積極的に実施する。指導実践を共有し、生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善につなげる。</p> <p>[授業アンケート中の主体的な学習活動に関する質問に対する生徒の自己評価の平均]</p>																		

		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3.6以上</td> <td>3.0~3.5</td> <td>2.5~2.9</td> <td>2.4以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3.6以上	3.0~3.5	2.5~2.9	2.4以下		
A	B	C	D									
3.6以上	3.0~3.5	2.5~2.9	2.4以下									
	<p>高校と連携して、新教育課程における評価の在り方、ICT活用に向けての研修を進める。</p>	<p>学習指導の改善が生徒の学習意欲・学力向上に繋がるよう、校内での研修の機会を増やし、各教科間や分掌、学校全体で教育力向上を目指す。 [学校評価アンケート（生徒）の学力向上に関する取組の上位の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>98%以上</td> <td>96%以上</td> <td>94%以上</td> <td>93%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	98%以上	96%以上	94%以上	93%以下		
A	B	C	D									
98%以上	96%以上	94%以上	93%以下									
生徒指導部	<p>明るく元気に挨拶を交わし、身だしなみを整えることで、よりよい人間関係を築き、社会性を育む。</p>	<p>挨拶、身だしなみについて意識を高められるように、日常的に教員から積極的に声掛けを行う。 [アンケートで、プラス評価の割合の平均値]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89%~70%</td> <td>69%~50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89%~70%	69%~50%	50%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89%~70%	69%~50%	50%未満									
	<p>交通安全に関わるルールの遵守や通学マナーの向上に向けた指導を行い、交通事故防止に努める。</p>	<p>交通事故の防止や、通学マナーの向上を呼びかけるなど啓発運動をする。 [通学路での見守り運動や正門での声かけ運動の回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>40回以上</td> <td>30回</td> <td>20回</td> <td>10回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	40回以上	30回	20回	10回以下		
A	B	C	D									
40回以上	30回	20回	10回以下									
	<p>「行動する力」「関わる力」を始め、5つの力の育成のため、生徒会執行部を中心とする委員会活動の活性化を図り、主体性と協調性を育む。</p>	<p>生徒会執行部及び各委員会で学校生活の充実に向けた取組を行う。 [アンケートで、プラス評価の割合の平均値]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89%~70%</td> <td>69%~50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89%~70%	69%~50%	50%未満		
A	B	C	D									
90%以上	89%~70%	69%~50%	50%未満									
進路指導部	<p>進路意識を向上させ、夢や希望を持って高校進学に臨むように指導する。</p>	<p>高校進学後の展望と、大学進学、そして大学卒業後の進路の見通しを持たせる。 [進路学習後のアンケートで、高校・大学進学や将来の夢について“考えることができた”と答えた生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>65%以上 80%未満</td> <td>50%以上 65%未満</td> <td>50%未満</td> </tr> </table> <p>-----</p> <p>高等学校における進路指導の実際を知り、早期から大学進学や大学進学後の就職を意識したキャリア教育を推進する。</p> <p>[大学進学を意識した進路学習の回数]</p>	A	B	C	D	80%以上	65%以上 80%未満	50%以上 65%未満	50%未満		
A	B	C	D									
80%以上	65%以上 80%未満	50%以上 65%未満	50%未満									

		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>4～5回</td> <td>2～3回</td> <td>1回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	4～5回	2～3回	1回以下			
A	B	C	D										
6回以上	4～5回	2～3回	1回以下										
	<p>職場体験学習などを計画し、職業観を身に付けさせるとともに将来地域社会に貢献する人材となるべき資質・能力・態度を身に付けさせる</p>	<p>職場体験に協力していただける事業所の開拓に当たる。</p> <p>[協力事業所数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20件以上</td> <td>19～15件</td> <td>14～10件</td> <td>9件以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20件以上	19～15件	14～10件	9件以下			
A	B	C	D										
20件以上	19～15件	14～10件	9件以下										
保健部	<p>生徒が健やかで安心・安全な学校生活を送ることができるよう、自らの健康や安全に対する意識の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう、病気や怪我の予防、また、授業・部活動・登下校時の災害防止に努める。定期的に「ほけんだより」、「安全だより」を発行し、健康、安全に関する注意喚起を行う。 ・新型コロナウイルス等感染症の拡大防止のため、啓発活動、健康観察、体調不良者への対応等に全校体制で取り組むことができるよう、情報提供や提案を行う。 ・健康診断結果に基づく要治療・再検生徒の受診率の向上を目指す。 <p>[眼科 視力検査で裸眼視力がB・C・Dの生徒の受診率]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>60%以上</td> <td>59～40%</td> <td>39～20%</td> <td>19%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	60%以上	59～40%	39～20%	19%未満			
	A	B	C	D									
60%以上	59～40%	39～20%	19%未満										
	<p>環境教育の充実を図り、校内美化に対する意識を高め、学習環境作りに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、トイレ、廊下等、校内の清掃、また感染症予防のための消毒を行い、校内の衛生管理に努める。 ・保健委員による校内の衛生管理活動等を企画して行い、校内美化に対する生徒の意識を高める。 <p>[保健委員会の年間活動回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回</td> <td>9～7回</td> <td>6～4回</td> <td>3回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回	9～7回	6～4回	3回未満			
A	B	C	D										
10回	9～7回	6～4回	3回未満										
人権教育部	<p>様々な人権問題についての正しい理解や認識を深め、人権尊重の実践的態度を養う。</p>	<p>学年部や他分掌の連携を深め、人権学習の教材や指導方法の改善に努める。</p> <p>[学校評価アンケート 生徒の人権学習に対するプラス評価平均]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>75%以上</td> <td>75%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	75%以上	75%未満			
	A	B	C	D									
90%以上	80%以上	75%以上	75%未満										
	<p>教職員の人権意識の高揚を図り、指導力の向上に努める。</p>	<p>教職員人権研修を充実させ、教職員の指導力の向上を図る。</p> <p>[教職員人権研修の実施]</p>											

		A	B	C	D										
		3回	2回	1回	0回										
総務企画部	<p>本校の特色ある取組や、生徒の充実した学校生活の様子を地域の方や小学生またその保護者等に正しく知ってもらえるよう広報誌(附属中だより、附属中案内)やホームページによる情報発信、各種説明会を工夫し、発展させる。また本校生徒・保護者に対しても同様に本校の取組等をこれまで以上に知ってもらうよう広報誌(福中タイムズ)の配信、ホームページの更新等に努める。</p>	<p>在校生とその保護者に本校の活動の様子をよりよく知ってもらうように、分掌内外の連携を強化し、ホームページや福高タイムズ等を媒体に積極的に情報発信することで広報に関する満足度を高める。 [学校評価アンケート(保護者用)問11「ホームページ等広報」におけるプラス評価の割合(全学年の平均値)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満		
	A	B	C	D											
	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満											
	<p>ホームページや学校案内、広報誌(附属中だより)、小学生対象の説明会等の広報に関わる様々な取組の内容や方法を改善していくことで、本校の魅力を正しく知ってもらうよう努め、志願者の増加を目指す。 [志願者数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80人以上</td> <td>75人以上</td> <td>70人以上</td> <td>70人未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80人以上	75人以上	70人以上	70人未満						
A	B	C	D												
80人以上	75人以上	70人以上	70人未満												
	<p>分掌内外の連携を密にし、高校と附属中学校の広報や生徒募集を有機的に機能させる。</p>	<p>部会を定期的開催し、また日常的に部内の意思疎通を図ることで、部全体が共通認識を持ち、協力体制のもと業務に取り組んでいけるよう努める。 [分掌会議の実施回数(作業を除く)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40回以上</td> <td>35回以上</td> <td>30回以上</td> <td>30回未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	40回以上	35回以上	30回以上	30回未満		
A	B	C	D												
40回以上	35回以上	30回以上	30回未満												
みらい探究部	<p>みらい楽において身につけさせたい力を明確にし、それらの力がどれぐらい身についたのか確認し、今後改善していく部分を明確にすることで、生徒が主体的に学ぶ力を高める。</p>	<p>みらい楽において、課題研究に必要なスキル、研究の進め方や発表の仕方、評価の方法等を工夫・改善し、より系統的で深い学びとするための学習計画を作成する。 [担当者の評価による計画と実施内容の達成度]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満		
	A	B	C	D											
90%以上	80%以上	70%以上	70%未満												
	<p>みらい楽における探究活動を通して課題発見・解決力、情報収集力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力など汎用的な力の育成を目指す。 [生徒の自己評価によるスキル向上平均値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0以上</td> <td>3.0以上</td> <td>2.0以上</td> <td>2.0未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	4.0以上	3.0以上	2.0以上	2.0未満						
A	B	C	D												
4.0以上	3.0以上	2.0以上	2.0未満												

	土曜講座を通して、学校における授業の深化・発展や基礎補充、地域における多様な学習や体験等ができる豊かな学びの環境を提供する。	生徒のさらなる成長を支え、興味を持って主体的に学習に向かう力を向上させるために土曜講座を活用し、学びの環境を提供する。 [中学生が対象となった講座数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>30以上</td> <td>25以上</td> <td>20以上</td> <td>20未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	30以上	25以上	20以上	20未満			
A	B	C	D										
30以上	25以上	20以上	20未満										
図書 視聴覚部	読書活動を推進し、5つの力を基盤とした「知識に裏付けされた判断力」「豊かな表現力」「感性を磨く力」を育成する。	豊かな読書活動を推進するために、図書委員会が図書館と学級の架け橋となるよう支援する。 学年、分掌、教科と連携し、図書館活用の機会を増やすとともに、活用内容の充実を図る。 [授業での図書館活用回数（みらい楽を除く）] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>60回以上</td> <td>50～59回</td> <td>40～49回</td> <td>39回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	60回以上	50～59回	40～49回	39回以下	v		
	A	B	C	D									
60回以上	50～59回	40～49回	39回以下										
P T A活動を推進し、保護者や府民の学校理解につなげる。	P T A活動が円滑に運営されるよう、事務局としての役割を果たす。学校行事やP T A活動について「お知らせメール（さくら連絡網）」を活用した、継続的かつ安定的な情報発信を行うとともに、機能充実に努める。 [保護者対象学校評価アンケートのP T A活動に対するプラス評価] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>70～79%</td> <td>60～69%</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	70～79%	60～69%	60%未満				
A	B	C	D										
80%以上	70～79%	60～69%	60%未満										
第1学年	中高一貫教育校であることを実感し、充実した学級生活を送れるような学級経営を行う。	高校生との交流や協働活動を充実させるとともに、生徒指導、教育相談等を適切に行い、生徒を生かす学級経営に努める。 [学校評価アンケートにおける「福高コラボ」に対する良い評価の割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%	70%	60%	50%			
	A	B	C	D									
80%	70%	60%	50%										
総合的な学習の時間「みらい楽」を通して、他者との対話を重ね、様々な立場の考え方に触れながら、問題をよりよく解決するための資質・能力を育む。 ※1年生の重点評価項目 「様々な角度から問題をとらえようとすることができたか」	総合的な学習の時間「みらい楽」の時間を活用し、課題解決型学習の手法を取り入れた探究学習を実施する。 [生徒の「自己評価表」で1年生の重点評価項目において目標評価基準（B）に到達した生徒の割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%	80%	70%	60%				
A	B	C	D										
90%	80%	70%	60%										

第2学年	<p>中高一貫教育校であることを実感し、充実した学級生活を送れるような学級経営を行う。</p>	<p>高校生との交流や協働活動を充実させるとともに、生徒指導、教育相談等を適切に行い、生徒を生かす学級経営に努める。 [学校評価アンケートにおける「福高コラボ」に対する良い評価の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%	70%	60%	50%		
	A	B	C	D								
80%	70%	60%	50%									
	<p>総合的な学習の時間「みらい楽」を通して、他者との対話を重ね、様々な立場の考え方に触れながら、問題をよりよく解決するための資質・能力を育む。 ※2年生の重点評価項目 「仮説を検証し、解決策を練り上げることができたか」</p>	<p>総合的な学習の時間「みらい楽」の時間を活用し、課題解決型学習の手法を取り入れた探究学習を実施する。 [生徒の「自己評価表」で2年生の重点評価項目において目標評価基準（B）に到達した生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%	80%	70%	60%		
A	B	C	D									
90%	80%	70%	60%									
第3学年	<p>中高一貫教育校であることを実感し、充実した学級生活を送れるような学級経営を行う。</p>	<p>高校生との交流や協働活動を充実させるとともに、生徒指導、教育相談等を適切に行い、生徒を生かす学級経営に努める。 [学校評価アンケートにおける「福高コラボ」に対する良い評価の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%	70%	60%	50%		
	A	B	C	D								
80%	70%	60%	50%									
	<p>総合的な学習の時間「みらい楽」を通して、他者との対話を重ね、様々な立場の考え方に触れながら、問題をよりよく解決するための資質・能力を育む。 ※3年生の重点評価項目 「どのようにすれば社会に貢献できるのかという視点で取り組めたか」、「課題を最後まであきらめず取組やり遂げることができたか」</p>	<p>総合的な学習の時間「みらい楽」の時間を活用し、課題解決型学習の手法を取り入れた探究学習を実施する。 [生徒の「自己評価表」で3年生の重点評価項目において両方の項目で目標評価基準（B）に到達した生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>80%</td> <td>70%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%	80%	70%	60%		
A	B	C	D									
90%	80%	70%	60%									
事務部	<p>安心・安全な学校を維持し、管理を徹底する。</p>	<p>危機管理意識を持ち、危険箇所の早期発見・早期改修に努める。 [危険箇所に対する改修率]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
	A	B	C	D								
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
	<p>学校経営方針を推進するため各分掌・教科と連携し、効果的な予算執行を行う。</p>	<p>各分掌・教科と連携を密にし、教育的効果のある予算執行を行う。学校経営を推進し本校教育に即した予算計画を立案し、確実に執行する。</p>										

		[教科・分掌の予算執行満足度]					
		A	B	C	D		
		90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
	丁寧、的確及び迅速な窓口業務・電話対応を行う。	府民との窓口になる対応を丁寧、的確及び迅速に行い、円滑な学校運営に努める。					
国語科	主体的・対話的で深い学びからの授業改善や、ICTの活用などにより、生徒が意欲的に思考し、表現しようと思える指導の工夫改善に努める。	既習の事項を生かした表現活動を充実させ、知識・技能の定着を図る。 [「授業中に「分かった」「できた」と思うことがよくある」の割合]					
		A	B	C	D		
		3.6以上	3.3以上	3.0以上	2.9以下		
	生徒の言語文化に対する関心を深め、基本的な語彙力等の定着を図る。	単元の中で重点的に扱う指導事項を検討し、意欲を高める言語活動を設定する。小テストなどを活用して、家庭学習の方法を改善させる。 [「授業に意欲的に取り組んでいる」の割合]					
		A	B	C	D		
		3.6以上	3.3以上	3.0以上	2.9以下		
社会科	社会的事象に対する関心・意欲を高め、生きて働く知識・技能を習得させる。	授業の中でICTを効果的に活用し、指導方法の改善を図りながら、学力向上につなげていく。習得した知識・技能が生きて働く力となるように、活用の場面を適切に設定していく。 [授業アンケートの中の「先生の教え方に工夫が感じられ、自分自身の理解を深められている」に対する生徒の自己評価の平均]					
		A	B	C	D		
		3.6以上	3.0～3.5	2.5～2.9	2.4以下		
	生徒が「見方・考え方」を働かせる機会を適切に設定し、思考力・判断力・表現力を高める。	様々な課題（グローバルな課題から地域課題まで）を主体的・協働的に発見・探究するための学習機会を設ける。 [各学年の課題解決型授業の実施回数]					
		A	B	C	D		
		12回以上	11～9回	8～6回	5回以下		
数学科	主体的な態度で学習に励む生徒を育成し、社会の変化に対応できる学力を養成する。	学ぶことやわかることが楽しいと感じられるように、主体的に考えられる機会を大切に授業を展開する。 [学ぶことやわかることが楽しいと感じる生徒の割合]					

		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>70%以上</td> <td>70%～50%</td> <td>50%～30%</td> <td>30%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	70%以上	70%～50%	50%～30%	30%以下		
A	B	C	D									
70%以上	70%～50%	50%～30%	30%以下									
	<p>学習意欲を高める指導の工夫と改善を推進する。</p>	<p>デジタル教科書を使った授業を始めとし、ICTの活用についての交流を図り、効果的な使い方を実践しながら交流を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>図れた。</td> <td>まあまあ図れた。</td> <td>あまり図れなかった。</td> <td>図れなかった。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	図れた。	まあまあ図れた。	あまり図れなかった。	図れなかった。		
A	B	C	D									
図れた。	まあまあ図れた。	あまり図れなかった。	図れなかった。									
理科	<p>質の高い学力の定着を図るための集団づくり・環境づくりに努める。</p>	<p>学習の達成度を的確に把握して評価を行う。また、生徒相互の討議や教え合い学習など生徒自らが学ぶ授業づくりに努める。</p> <p>観察や実験などを小グループで行い、すべての生徒が学習活動に参加しやすい条件づくりに努める。</p> <p>[グループ学習等を取り入れた授業の実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>週3以上</td> <td>週2以上</td> <td>月4以上</td> <td>月2以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	週3以上	週2以上	月4以上	月2以下		
	A	B	C	D								
週3以上	週2以上	月4以上	月2以下									
	<p>中高6年間を見通しながら、生徒の興味、関心、意欲を高め、主体的に学ぶ態度を育成する。</p>	<p>高校で使用する教材・教具の活用に加え、ICT等も活用しながら、観察・実験を多く取り入れた授業を積極的に行い、理科への興味・関心を高める。</p> <p>[理科の学習が「好き」または「まあ好き」の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>95%以上</td> <td>94～90%</td> <td>89～80%</td> <td>80%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	95%以上	94～90%	89～80%	80%未満		
A	B	C	D									
95%以上	94～90%	89～80%	80%未満									
音楽科	<p>歌唱・器楽の演奏能力の向上を図るとともに、創作・鑑賞の知識やその基礎力の充実を目指す。</p>	<p>[授業アンケートで「分かった」「できた」と思うことがよくある生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>39%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	39%以下		
		A	B	C	D							
80%以上	79～60%	59～40%	39%以下									
	<p>創作に意欲を持って取り組み作品を作ったり演奏できるように、楽曲の背景を理解し鑑賞する。</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5曲以上</td> <td>4～3曲</td> <td>2曲</td> <td>1曲</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5曲以上	4～3曲	2曲	1曲			
A	B	C	D									
5曲以上	4～3曲	2曲	1曲									
美術科	<p>作品制作や鑑賞を通して、思考力、判断力、表現力を育成するため、ICTを活用した授業改善を推進する。</p>	<p>思考力、判断力、表現力を育成するために「鑑賞」や「表現」の授業でICT活用した授業改善を行い、授業に対する意欲関心を高める。</p> <p>[授業アンケートで授業中の説明や指示は分かりやすく、意欲関心が沸く」と回答した生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D						
A	B	C	D									

		90%以上 89~80% 79~70% 69%以下											
	美術作品を鑑賞する喜びを味わせ、感じ取る力」や「思考力」「言葉による表現力」を育成する。	対話型鑑賞等いろいろな方法での鑑賞を行い、「見方、感じ方を深める鑑賞」に興味関心を持たせる。 [学年末アンケートで鑑賞に興味があると答えた割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~80%</td> <td>79~70%</td> <td>69%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~80%	79~70%	69%以下			
A	B	C	D										
90%以上	89~80%	79~70%	69%以下										
保健体育科	<体力の向上を図る> 本校生徒の体力は、京都府平均を下回る種目があるため、体育授業および体育的行事により体力の向上を目指す。	年間を通して体力向上をねらいとし、補強運動やトレーニング的な活動及びストレッチや柔軟運動を意識した授業を推進する。 [2学期以降の授業内にスポーツテストを行い、4月の測定時から総合点が上昇した人数の割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>70%以上</td> <td>60~69%</td> <td>50~59%</td> <td>0%~49%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	70%以上	60~69%	50~59%	0%~49%			
	A	B	C	D									
	70%以上	60~69%	50~59%	0%~49%									
<健康・安全教育の推進> 体育及び体育的行事の事故防止を図る。	体育・保健の授業を通して、自らの健康と安全に対する意識の向上を図る。 [1年間の事故件数（通院を伴うもの）] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0~5件</td> <td>6~10件</td> <td>11~15件</td> <td>20件以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0~5件	6~10件	11~15件	20件以上				
A	B	C	D										
0~5件	6~10件	11~15件	20件以上										
<ICTの有効的な活用> 一人一台タブレットを効果的に活用し、授業改善を図る。	体育の授業で個人の動きを動画で撮影して視覚的フィードバックを与えたり、保健の授業で映像資料を活用するなど、ICTを積極的に活用して、生徒の学習内容の理解度を高め、技能の向上を図る。 [生徒にアンケートを実施し、「授業でICTが効果的に活用されていた」の項目で、肯定的に回答した人数の割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80~89%</td> <td>70~79%</td> <td>0~69%</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	80~89%	70~79%	0~69%				
A	B	C	D										
90%以上	80~89%	70~79%	0~69%										
技術・家庭科	生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する能力資質を育む。(生活と技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身に付けさせる。)	生徒に身に付けさせたい課題に関する観点と尺度を明確にした学習到達度や評価基準（実物例やルーブリック等）を示し、技能の習得に生かす。 [課題に対する実物例やルーブリック等の作成割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79~60%</td> <td>59~40%</td> <td>39%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79~60%	59~40%	39%以下			
A	B	C	D										
80%以上	79~60%	59~40%	39%以下										
英語科	中高6年間を見通して、英語4技能5領域を総合的に育成する学習指導を行い、情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするなど、積極的にコミュニケー	単元ごとに目標を明示し、単元の終わりに生徒が自らの学習をふり返る機会を設ける。											

	<p>ションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>[2学期授業評価アンケート「自分の学習活動を振り返り、工夫や改善をしながら、粘り強く取り組んでいる。」の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>3.6以上</td> <td>3.5～3.2</td> <td>3.1～2.8</td> <td>2.8未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3.6以上	3.5～3.2	3.1～2.8	2.8未満			
A	B	C	D									
3.6以上	3.5～3.2	3.1～2.8	2.8未満									
	<p>コミュニケーションを行う場面や目的、状況などに応じて、外国語の知識および技能を活用して自分の気持ちや考えを簡単な言葉で表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション活動の場を多く展開する。 [パフォーマンステストの振り返りアンケート「コミュニケーションを行う場面や目的、状況などに応じて、自分の気持ちや考えを簡単な言葉で表現したり伝え合ったりすることができた」の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満			
A	B	C	D									
90%以上	80%以上	70%以上	70%未満									
道徳	<p>道徳の授業を中心に、自分自身を見つめ、人間としての生き方や周りの仲間や社会との関わりについて考え、表現する経験を積ませる。</p> <p>自分自身や自らの属する集団について考え、表現する経験を重ねることで、より良い環境を自ら作っていけるようにする。 [学校評価アンケートにおける、自らの属する集団や自分自身についての、肯定的な評価の割合]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>95%以上</td> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>85%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	95%以上	90%以上	85%以上	85%未満			
A	B	C	D									
95%以上	90%以上	85%以上	85%未満									
	<p>教科書を用いて、それぞれの内容項目について道徳の授業を行い、評価が円滑に行われるようにする。 [授業内容や評価についての情報交流]</p> <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>25回以上</td> <td>20回以上</td> <td>15回以上</td> <td>15回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	25回以上	20回以上	15回以上	15回未満			
A	B	C	D									
25回以上	20回以上	15回以上	15回未満									

学校関係者 評価委員会 による評価	
次年度に向けた改善の 方向性	